

川越市

令和3年度決算のポイント

令和4年8月



1 決算の規模

【歳入】

一般会計

1,335億3,734万円

(対前年度比 211億5,162万8千円減)

【歳出】

一般会計

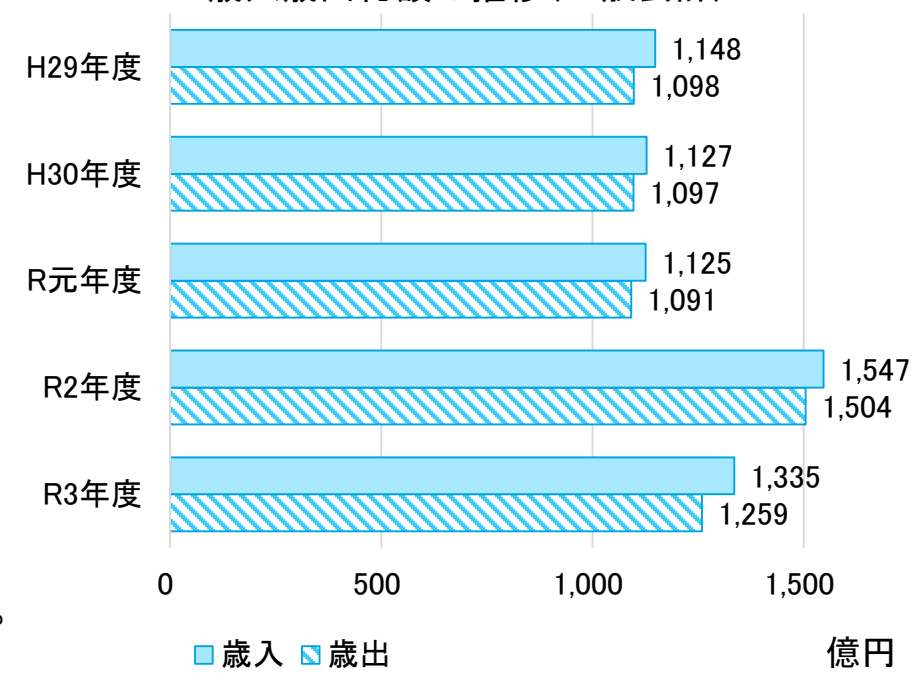
1,259億1,343万6千円

(対前年度比 245億80万8千円減)

※歳入歳出総額は千円単位とし、単位未満は切り捨てています。

- 対前年度比で歳入は約212億円、歳出では約245億円減少しました。
- 歳入は、市税の減とともに、新型コロナウイルス感染症関連の国庫支出金の減等により、歳入全体として対前年度比で13.7%減少しました。
- 歳出は、新型コロナウイルス感染症関連の給付金給付事業に係る経費の減等により、歳出全体として対前年度比で16.3%減少しました。

歳入歳出総額の推移(一般会計)



2 決算の収支

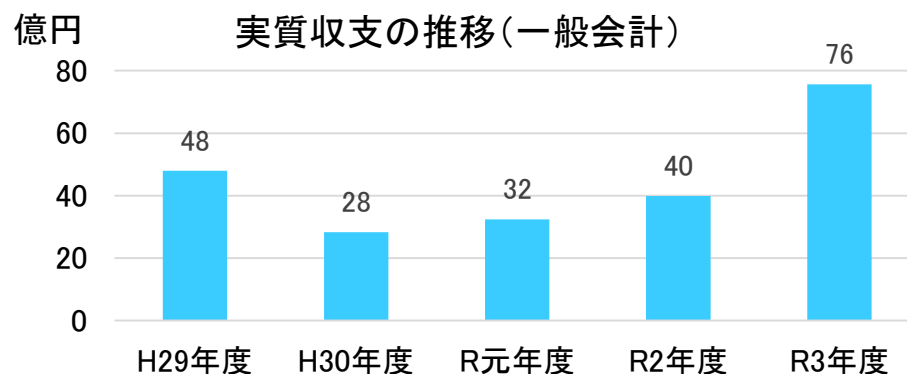
一般会計決算収支の状況

単位：千円

年度	歳入総額 ①	歳出総額 ②	形式収支 ①－②＝③	翌年度へ繰り越すべき財源 ④	実質収支 ③－④＝⑤
R2	154,688,968	150,414,244	4,274,723	287,570	3,987,152
R3	133,537,340	125,913,436	7,623,903	62,995	7,560,908
比較	△21,151,628	△24,500,808	3,349,180	△224,575	3,573,756

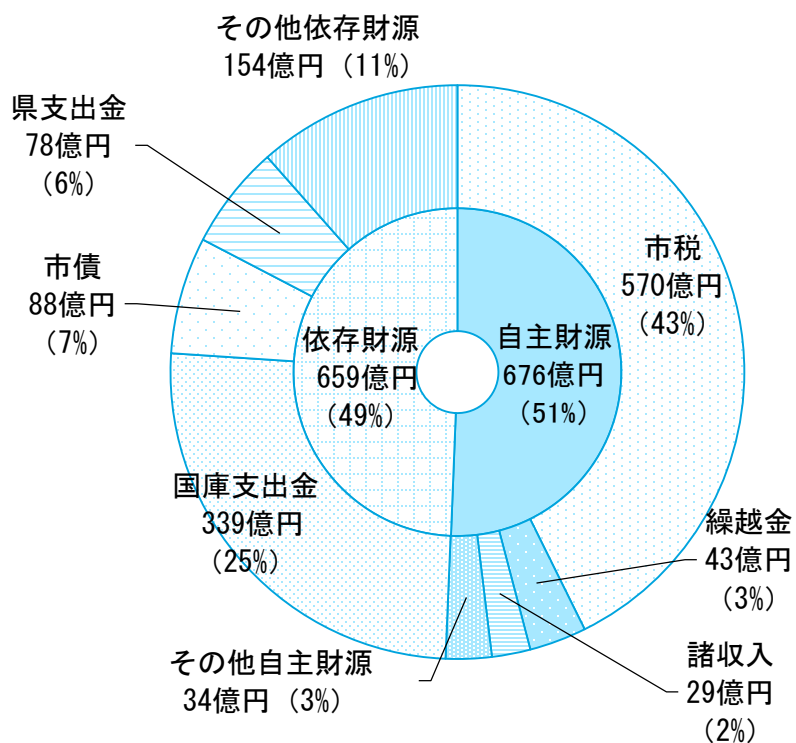
※表中の金額は千円未満切り捨てのため、差引額が一致しない場合があります。

- 歳入総額から歳出総額を差し引き、さらに翌年度へ繰り越すべき財源を除いた実質収支は、75億6,090万8千円となりました。
- 令和2年度と比較すると、実質収支は35億7,375万6千円の増加です。



3 一般会計歳入の内訳

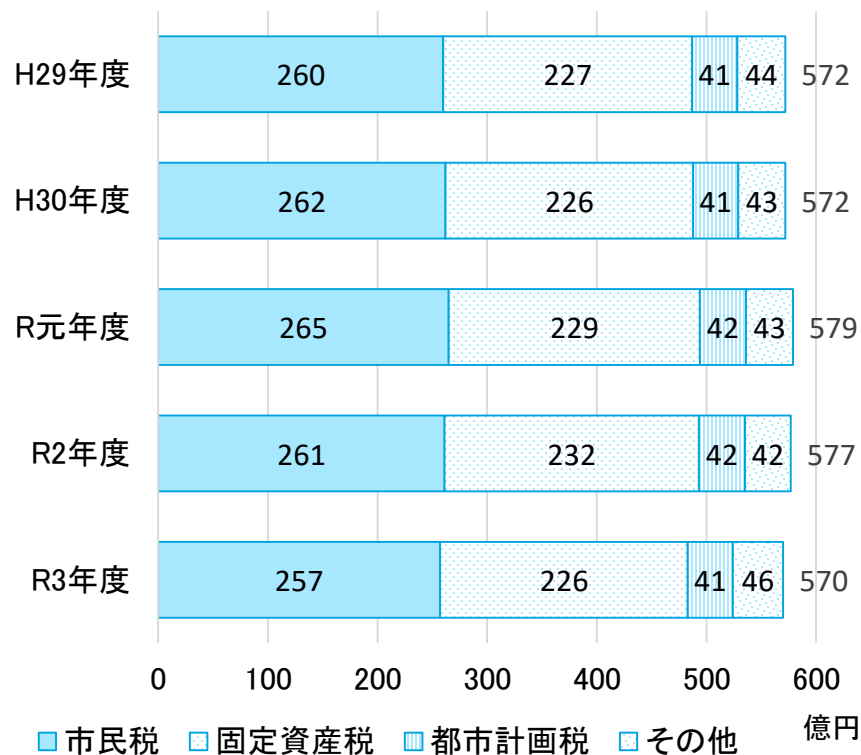
歳入



※計数はそれぞれ四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。

- 新型コロナウイルス感染症関連の国庫支出金が大幅に減少したため、自主財源の比率が前年度の43%から51%まで上昇しました。

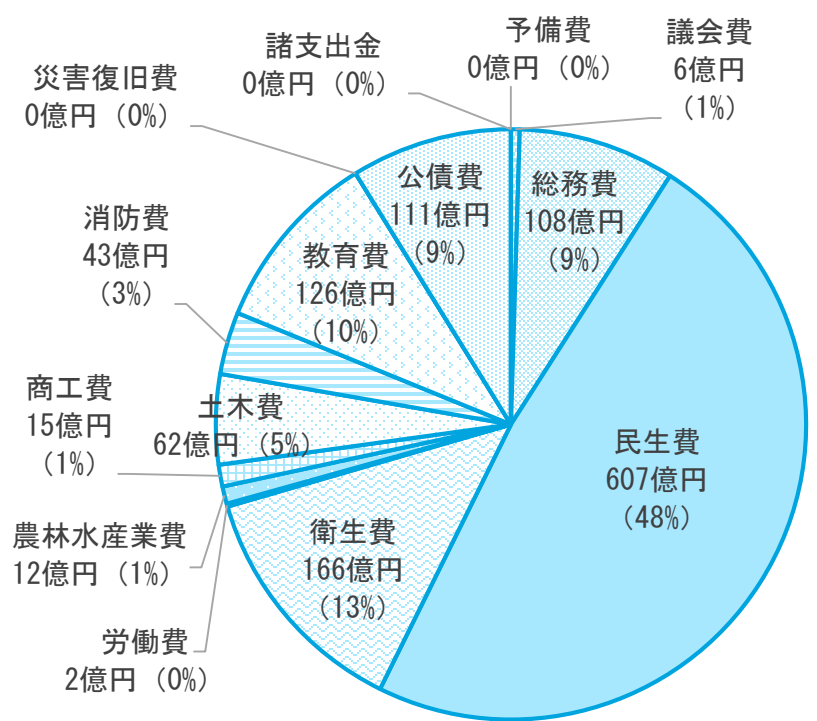
市税収入の推移



- 市民税の減などにより、市税収入全体では、対前年度比で約7億円の減となりました。

4 一般会計歳出の内訳

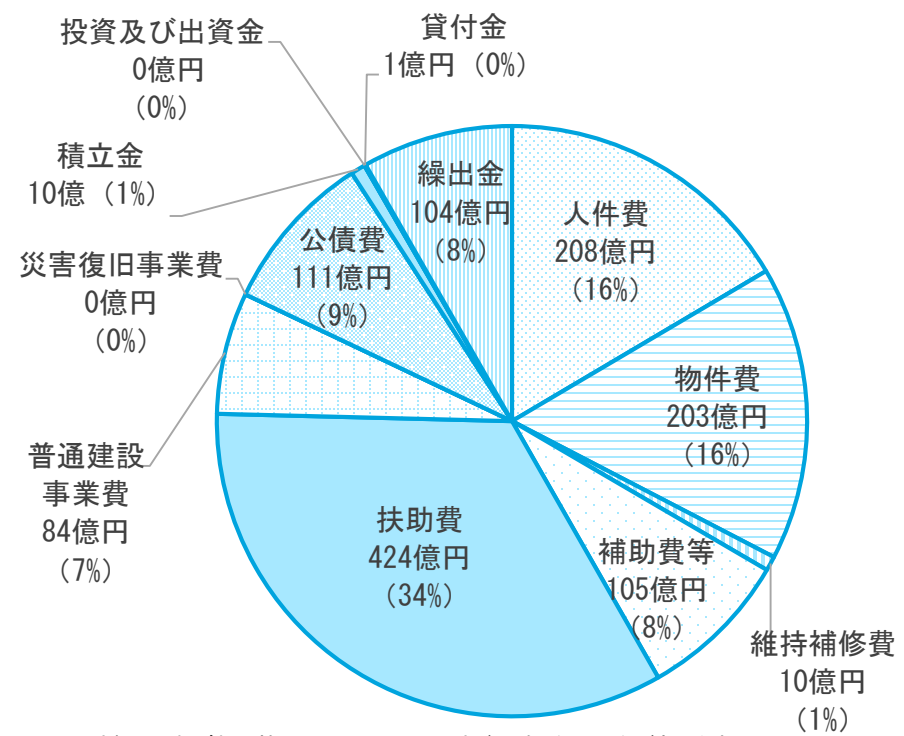
歳出（目的別）



※計数はそれぞれ四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。

- 全体の4割以上を占める民生費は、対前年度比で約97億円の増となりました。
- 総務費は、対前年度比で約361億円の減となりました。

歳出（性質別）



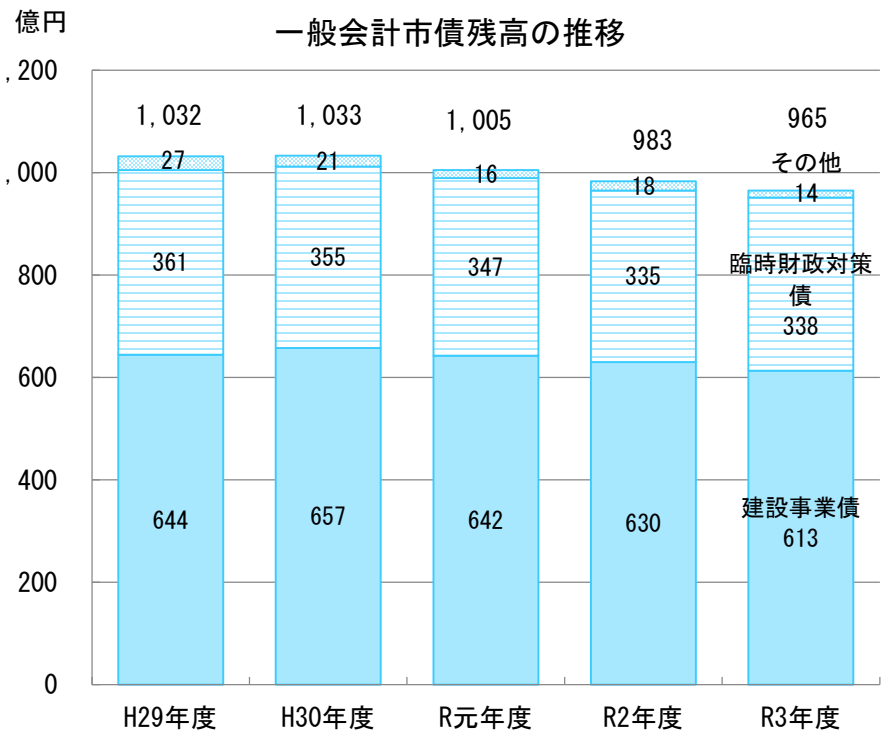
※計数はそれぞれ四捨五入しているため、計が一致しない場合があります。

- 全体の1/3以上を占める扶助費は、対前年度比で約83億円の増となりました。
- 補助費等は、対前年度比で約370億円の減となりました。

5 市債残高及び積立基金の状況

市債残高の状況

一般会計市債残高の推移

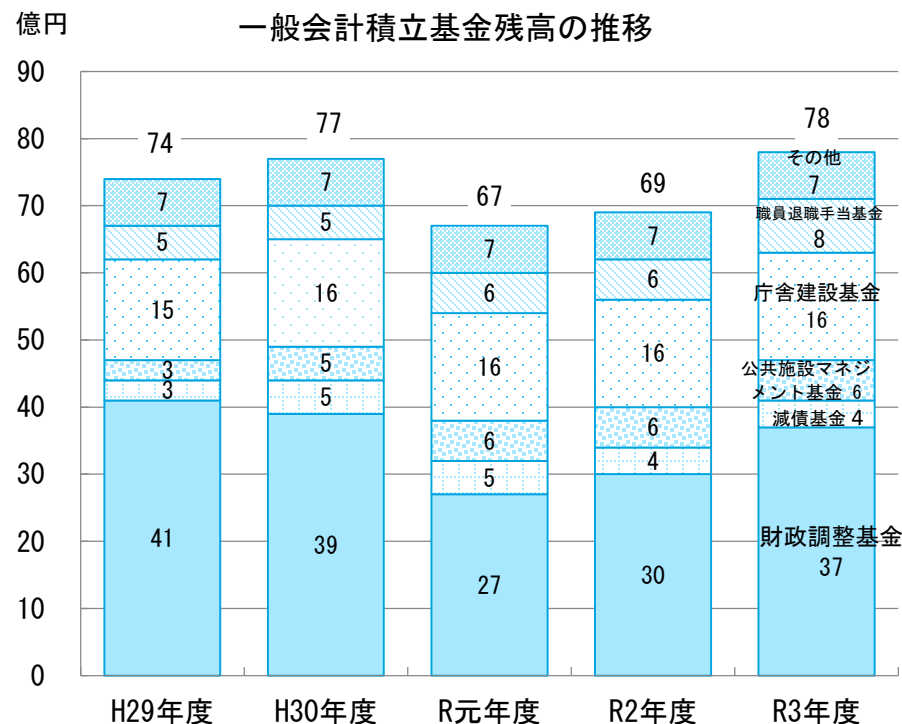


※その他・・・減収補てん債及び減税補てん債

- 市債残高は、前年度末より約18億円の減となりました。

積立基金の状況

一般会計積立基金残高の推移



- 令和3年度末の一般会計積立基金残高は、前年度末より約9億円の増となりました。

6 新型コロナウイルス感染症への取組

国や県の財源を活用しながら、感染症対策に取り組みつつ、市民生活・地域経済・教育活動への支援等を行いました。

感染拡大防止対策

決算額：3,033,825千円

新型コロナウイルスワクチン接種を医療機関や集団接種会場で実施したほか、市施設の空調設備改修や教室等への二酸化炭素モニターの設置などを行いました。



市民生活への支援

決算額：8,361,269千円

感染症の影響を受けた家計を支援するため、子育て世帯等に各種給付金の給付などを行いました。



ICT化推進

決算額：71,234千円

図書館での電子書籍の購入のほか、都市計画情報の電子データ化や民間保育所等におけるICTを活用した業務システム導入等への補助などを行いました。



医療提供等の体制強化

決算額：1,103,158千円

高齢者及び障害者施設等の従事者等を対象にPCR検査を実施したほか、委託医療機関が行う保険適用のPCR検査や感染症入院医療費に係る患者負担費用の公費負担などを行いました。



地域経済への支援

決算額：876,499千円

消費活性化及びキャッシュレス決済の普及促進のためのポイント還元事業のほか、観光消費促進のための小江戸旅ギフトスタンプラリーなどを行いました。



小江戸旅ギフトスタンプラリー
ロゴマーク

教育活動への支援

決算額：232,005千円

分散登校等に伴うオンライン授業のための通信機器（ルーター）の貸与や、林間学校や修学旅行の中止によるキャンセル料に対する補助などを行いました。



7-1 主な事業の成果【子ども・子育て、福祉・保健・医療】

- 子ども・子育て分野では、安心して妊娠、出産、子育てができる環境づくりに向けた施策を推進しました。
- 福祉・保健・医療の分野では、住み慣れた地域で、一人ひとりが健康でいきいきと安心して暮らせるまちづくりを推進しました。

子育て安心施設運営管理【一部コロナ関連】

子育て世代が安心して子育てができるよう、保育や子育て支援機能のほか、各種相談やさまざまな世代間の交流ができる、子育て安心施設「すくすくかわごえ」を令和3年7月5日にオープンし供用を開始しました。

(担当部署：こども育成課)

決算額：27,478千円



子育て安心施設「すくすくかわごえ」

川越市保育ステーション事業【一部コロナ関連】

朝夕の1日2回、保育ステーションから指定の保育所等へ送迎するとともに、保護者のお迎えまで児童を預かる送迎保育のほか、土日休日(年末年始を除く)も含めた日中の乳幼児の一時預かりを開始しました。

決算額：54,161千円



保育ステーション
(子育て安心施設「すくすくかわごえ」2階)

(担当部署：保育課)

成年後見制度に係る中核機関の開設

認知症等のため判断能力が十分でない方が適切に成年後見制度を利用できるように、令和3年4月に成年後見センターを開設し、各種相談に応じるほか、申立て手続きや関係機関の案内などの支援を開始しました。

(担当部署：高齢者いきがい課)

決算額：10,167千円



7-2 主な事業の成果【教育・文化・スポーツ、環境】

- 教育・文化・スポーツ分野では、社会教育施設などの長寿命化を図るとともに、ICTの活用により、感染拡大などの緊急時においても、すべての児童・生徒の学びを保障できる環境を実現するための取組を進めました。
- 環境分野では、引き続き老朽化した施設の延命化に向けた改修を推進しました。

クラッセ川越冷暖房設備等改修工事

冷暖房設備の老朽化に伴い、令和3年11月30日から令和4年2月1日までの間、施設全館を閉館し、改修工事を行いました。

改修終了後は、令和4年2月2日に、供用を再開しました。

決算額：127,668千円



クラッセ川越

(担当部署：中央図書館)

GIGAスクールサポーター【コロナ関連】

運用ルール・マニュアル作成や、学校の教職員授業準備支援、フィルタリングソフト設定更新のほか、教職員からの問い合わせや障害発生時の一次対応などの業務を専門業者に委託し、市立学校におけるICT化を進めました。

(担当部署：教育指導課)

決算額：41,646千円



東清掃センター大規模改修

老朽化が進む施設を延命化し、今後長期的に稼働させるために令和元年9月から実施していた焼却施設やリサイクル施設の大規模改修工事を、令和4年3月に完了しました。

決算額：1,503,236千円



東清掃センター

(担当部署：環境施設課)

7-3 主な事業の成果【都市基盤・生活基盤、地域社会・市民生活】

- 都市基盤・生活基盤分野では、駅周辺施設の改修・整備による都市機能の向上を推進しました。
- 地域社会・市民生活分野では、地域公共交通網の充実や公園の整備などによる生活環境の向上を図りました。

川越駅東口駅前広場改修

決算額：294,797千円

利用者の安全性の確保と利便性の向上を図るために実施していた改修事業は、令和3年度に、歩道の拡幅、舗装の打換えなどを実施し、令和4年3月に完了しました。



改修後の川越駅東口駅前広場

(担当部署：道路環境整備課)

デマンド型交通事業

決算額：30,711千円

平成31年2月に運行を開始したデマンド型交通「かわまる」は、順次運行地域を拡大し、令和2年12月から市中心部を除く市内3地区全域で運行を開始しています。令和3年度も引き続き、毎日(年末年始を除く)運行しました。



運行車両(リフト付のワゴンタイプ)

(担当部署：交通政策課)

初雁公園整備

決算額：164,699千円

市制施行100周年に向け、川越城本丸御殿の周辺に広場整備を実施するため、令和3年度は、付替道路を整備し令和3年10月に市道として供用を開始したほか、初雁公園広場整備工事などに着手しました。



川越城本丸御殿前広場
(令和3年度工事後)

(担当部署：公園整備課)

7-4 主な事業の成果【産業・観光】

- 産業・観光分野では、新型コロナウイルス感染症の影響で落ち込んだ地域経済の回復に向けた取組を推進しました。
- 1年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた大会機運の醸成や円滑な運営に係る取組のほか、大会の感動や記憶を後世に伝えるための取組を推進しました。

中小企業者事業継続支援金【コロナ関連】

売上等の減少により経営の安定に支障が生じている事業者に対し、用途を制限しない一律の支援金の給付を令和3年度中に2回実施し、事業継続を支援しました。
 (支援金 第一弾:7万円、第二弾:6万円)
 (担当部署:産業振興課)

決算額:667,270千円



オリンピック・パラリンピックの推進

大会開催に向けて、オリンピック聖火リレーの開催や、ゴルフ競技会場周辺等の飾りつけなどを行ったほか、ゴルフ競技開催期間中、都市ボランティアによる選手等の車両のお出迎えや周辺の清掃活動などを行いました。

決算額:24,955千円



東京2020オリンピックゴルフ競技開催記念碑(市役所本庁舎前)

大会終了後は、記念碑の設置などを行いました。
 (担当部署:オリンピック大会室(令和3年度で廃止))

キャッシュレス決済消費活性化事業【コロナ関連】

外出自粛要請等により大きな影響を受けた市内飲食・小売業等の売上の向上と市内経済の活性化を図るとともに、キャッシュレス決済の普及促進を図るため、ポイント付与率25%のポイント還元事業を実施しました。
 (担当部署:産業振興課)

決算額:90,190千円

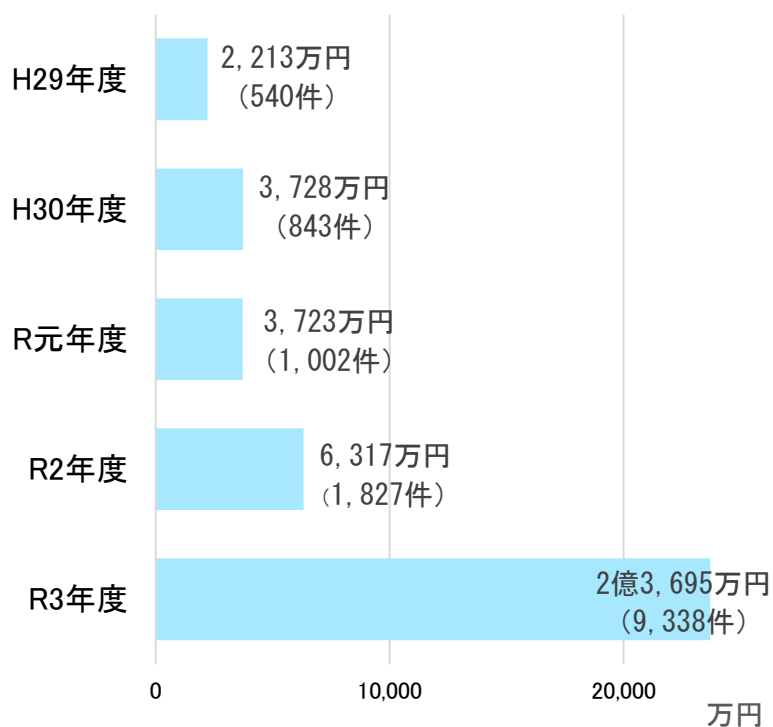


キャンペーンポスター

(参考) ふるさと納税の状況

令和3年度は、9,338件、2億3,695万円の寄附金をいただきました。これらの寄附金は、本市の魅力あふれるまちづくりに活用させていただきました。

寄附金の推移(個人)



目的		件数	寄附金額
分野	子ども・子育てに関すること	1,664	40,775千円
	福祉・保健・医療に関すること	463	10,859千円
	教育・文化・スポーツに関すること	291	6,966千円
	都市基盤・生活基盤に関すること	127	2,961千円
	産業・観光に関すること	399	8,581千円
	環境に関すること	326	7,543千円
	地域社会・市民生活に関すること	68	1,385千円
	住民自治・行財政運営に関すること	31	695千円
基金	みんなで支える観光基金	364	7,830千円
	文化芸術スポーツ振興基金	179	4,533千円
	大学奨学金基金	310	21,403千円
	市制施行百周年記念事業基金	321	8,397千円
その他の特定事業 (新型コロナウイルス感染症対策・支援関連等)		1,356	32,932千円
一般寄附		3,439	82,090千円
合計		9,338	236,950千円